
会 告

日本鉄鋼協会第 59 回講演大会開催御案内

昭和 35 年 2 月

日本鉄鋼協会会長 塩 沢 正 一

会 員 各 位

本会は来る 4 月 1 日（金）2 日（土）3 日（日）の 3 日間、東京において講演大会を、4 月 4 日（月）に日本金属学会と合同で工場、研究所などの見学会を開催することになりました。また 4 月 1 日（金）13:00 時より本会通常総会、表彰式、特別講演、18 時 30 分より金属学会と合同で懇親会が催されますので、奮って御参加下さるよう御案内いたします。

なお通常総会、表彰式の詳細は 3 月号でお知らせします。

（見学会、懇親会に出席を希望される方は下記要領によりお申込み下さい）

記

大 会 日 程 4 月 1 日（金） 9 時 20 分より講演会、13:00 時より通常総会、表彰式、特別講演
18 時 30 分より懇親会

4 月 2 日（土） 9 時より講演会

4 月 3 日（日） 9 時より講演会

4 月 4 日（月） 見学会

会 場 講演会 東京大学工学部第 2 号館 東京都文京区本富士町
懇親会 学士会館本館 東京都千代田区神田錦町 3-28 電(291)6936

講 演 大 要 講演大要は会誌 3 月号として会員全員に配布いたします。

集 合 出席会員は本会制定の会員章（お持ちにならない方は当日受付でお求め下さい）をご佩用のうえ講演会開始前に会場にお集り下さい。

見学会集合場所は A 班（水戸駅前）を除き、東京駅丸ノ内北口（旧降車口）前広場です。

懇親会会場には講演会場よりバスを用意いたしますのでご利用下さい。

昼 食 見学会参加の方に限り弁当の用意をいたします。そのほか食事の準備をいたしません。

見学会・懇親会出席申込要領

申込締切期限 昭和 35 年 3 月 5 日（厳守）

期限後のお申込、特に会場での見学会お申込みは事情の如何にかかわらずお受けいたしません。

申 込 方 法 見学会、懇親会に出席を希望される方は別紙申込用紙（1 人 1 枚）に必要事項をご記入のうえお申込み下さい。同時に出席費もお払込み下さい（見学出席費添付なき場合お申込みは無効となります）
見学会は別紙見学班表からお選び下さい（1 人 1 班）なお見学各班とも定員があり、申込多数の場合抽せんいたしますから、見学は必ず第 3 希望まで順位をつけてお申込み下さい。

出 席 費 見学会：600 円 バス代、昼食代にあてます。（見学出席費添付のないお申込みは無効です）
懇親会：700 円 パーティー式

出席費はお申込みと同時に現金書留でお払込み下さい。

見学会と懇親会の出席券は見学会抽せん後 3 月 20 日頃発送いたします。

見 学 班 表

4 月 4 日 (月)

* 印は同業者の見学お断り

班別	定員 (両会 合計)	見 学 先 (工場・研究所)	見学時間	見学設備・製 品	所 在 地	集合(出発)時間 お よ び 場 所	注意事項
A	50	日本原子力研究所 東海研究所	13:00 ～16:00	JRR-1 V.D.G. Co-60 照射実験室	茨城県那珂郡東海村	11:40 (水戸駅前) (出発前食事)	上野発 急行 普通 9.50 8.17 水戸着 11.35 10.55
B	80	東京電力(株) 千葉火力発電所 川崎製鉄(株) 千葉製鉄所	10:00 ～12:00 13:00 ～16:00	火力発電設備 製鉄, 製鋼, 圧延設備	千葉市蘇我町2～966 千葉市川崎町 1	8:30 (東京駅丸ノ内) (北口前広場)	
C	50	* 十条製紙(株) 十条工場 日本特殊鋼管(株) 東京工場	10:00 ～12:00 13:00 ～15:00	抄紙機パルプ設備 鋼管製造工程	北区王子 5～1 板橋区舟渡3～2848	9:00 (東京駅丸ノ内) (北口前広場)	撮影禁止
D	50	東都製鋼(株) 東京製鋼所 汽車製造(株) 東京製作所 朝日新聞社 東京本社	10:00 ～12:00 13:00 ～14:00 14:30 ～16:00	平炉, 圧延設備 電気機関車, 蒸気機 関車ディーゼル客車 活版, 印刷部, 写真 製版部, 電送写真	江東区南砂町5～1985 江東区南砂町 4～5 千代田区有楽町 2～3	9:00 (東京駅丸ノ内) (北口前広場)	撮影指示
E	50	* 日本金属工業(株) 川崎工場 三菱石油(株) 川崎製油所	10:00 ～12:00 13:00 ～16:00	ステンレス鉄棒, 鋳 物製造設備 主要石油精製装置	川崎市大師河原上殿 町4861 川崎町扇町16	9:00 (東京駅丸ノ内) (北口前広場)	撮影禁止 撮影にフラ ッシュ使用 禁止, 禁煙
F	50	* 芝浦共同工業(株) 鶴見工場 自動車鋳物(株) 鶴見工場 日本ビクター(株) 横浜工場	10:00 ～12:00 13:00 ～14:00 14:30 ～16:00	各種圧延機, 各種水圧 プレス, 油圧式プレス 可鍛鉄製品, 鋳鋼ダ クタイルの熔解より仕 上作業まで レコード, 電蓄, ラジ オ, テレビ	横浜市鶴見区末広町 2～4 横浜市鶴見区江ヶ崎 町 405 横浜市神奈川区守屋 町 3～12	9:00 (東京駅丸ノ内) (北口前広場)	撮影禁止 撮影禁止
G	50	* 日本精工(株) 藤沢工場 * 東京芝浦電気(株) 柳町工場 〃 小向工場	10:00 ～11:30 13:00 ～14:20 14:30 ～16:00	ベアリング製造工程 一般 トランジスタラジ オ, 冷凍機, 製造工程 テレビ, 通信機製造 工程	神奈川県藤沢市鶴沼 1375 川崎市柳町 川崎市小向東芝町 1	8:30 (東京駅丸ノ内) (北口前広場)	撮影禁止 撮影禁止
H	50	* 三菱日本重工(株) 東京自動車製作所 三菱日本重工(株) 横浜造船所	10:00 ～12:00 13:00 ～15:00	自動車, 建設機械, 産業機械, 動力機械 船台, 船渠, 造機工場	大田区下丸子町 321 横浜市西区緑町 3～4-2	9:00 (東京駅丸ノ内) (北口前広場)	撮影禁止
I	50	* 山武ハネウエル計 器(株)蒲田工場 * 東京製綱(株) 川崎工場 * (株)小松製作所 川崎工場	9:40 ～11:00 11:20 ～13:30 14:00 ～16:00	工業計器並に自動調 整弁の製造工場 鋼線, 鋼索製造設備 建設機械, 産業車輛 産業機械, 鋳鋼品	大田区西六郷 3～48 川崎市河原町 1 川崎市中瀬町 3～2180	9:00 (東京駅丸ノ内) (北口前広場)	撮影禁止 撮影禁止
J	50	工業技術院 資源技術試験所 東京瓦斯(株) 豊洲工場	10:00 ～12:00 13:30 ～16:00	石炭類の基礎的研究 加工利用の研究, 精 錬選鉱に関する研究 等諸設備 ガス製造設備	川口市寿町 188 江東区深川豊洲 6丁目地先	9:00 (東京駅丸ノ内) (北口前広場)	火気注意

見学費 各班とも 600円ただしバス代, 中食代を含む,

「見学上の注意」

- (1) 見学者は必ず所属学協会制定の徽章を御佩用のこと。
- (2) 見学は1人1班といたします。なお第1, 第2, 第3まで希望順位を記すこと。
- (3) 見学申込は3月5日締切のうえ抽せんにより決定します。
- (4) 見学は各班とも貸切バスによります。
- (5) 見学費添付なきときは申込無効といたします。
- (6) 見学班決定後の見学不参加に対しては見学費の返金は致しません。
- (7) * 印工場は同業者の見学をお断り致します。
- (8) 集合場所の東京駅丸ノ内北口前広場は旧降車口です, 集合時間厳守のこと (同時出発予定)
- (9) 見学班決定のうえ出席券その他を3月20日頃発送いたします。

日本鉄鋼協会第 59 回講演大会見学会・懇親会出席申込票

(1人1枚に限る。申込みは本型式によること)

申込締切期限 3月5日(厳守)

会員別(明示のこと) 名誉, 維持, 賛助, 正, 学生

勤務先所在地

勤 務 先

職 名 (詳細にお書き下さい)

氏 名 (ふりがな付)

通信先 (勤務先と異なる場合に記入)

見学会出席費 (バス代を含む) 600円 (不要なものを消して下さい)
昼食代

懇親会出席費 700円

合 計 円

出席費は現金書留でお払込み下さい。

希 望 見 学 班 表 (見学希望班に順位をつけて下さい)

希望班	班	定員	見 学 工 場・研 究 所	集合(出発)時間 お よ び 場 所
	A	50	日本原子力研究所 東 海 研 究 所	11:40 (水戸駅前)
	B	80	東京電力(株) 千葉火力発電所 川崎製鉄(株) 千葉製鉄所	8:30 (東京駅丸ノ内北口前広場)
	C	50	*十 条 製 紙(株) 十 条 工 場 日本特殊鋼管(株) 東 京 工 場	9:00 (東京駅丸ノ内北口前広場)
	D	50	東 都 製 鋼(株) 東 京 製 鋼 所 汽 車 製 造(株) 東 京 製 作 所 朝 日 新 聞 社 東 京 本 社	9:00 (東京駅丸ノ内北口前広場)
	E	50	*日本金属工業(株) 川 崎 工 場 三 菱 石 油(株) 川 崎 製 油 所	9:00 (東京駅丸ノ内北口前広場)
	F	50	*芝浦共同工業(株) 鶴 見 工 場 自動車鑄物(株) 鶴 見 工 場 日本ビクター(株) 横 浜 工 場	9:00 (東京駅丸ノ内北口前広場)
	G	50	*日 本 精 工(株) 藤 沢 工 場 *東京芝浦電気(株) 柳 町 工 場 〃 小 向 工 場	8:30 (東京駅丸ノ内北口前広場)
	H	50	*三菱日本重工(株) 東京自動車製作所 三菱日本重工(株) 横 浜 造 船 所	9:00 (東京駅丸ノ内北口前広場)
	I	50	*山 武 計 器(株) 蒲 田 工 場 *東京製綱(株) 川 崎 工 場 *(株)小松製作所 川 崎 工 場	9:00 (東京駅丸ノ内北口前広場)
	J	50	工 業 技 術 院 資 源 技 術 試 験 所 東 京 瓦 斯(株) 豊 洲 工 場	9:00 (東京駅丸ノ内北口前広場)

- (註) 1. *印は同業者の見学を固くお断りいたします。
2. 東京駅丸ノ内北口前広場は旧降車口前広場です。

第 10 回各社製品展示会開催について

社団法人 日 本 鉄 鋼 協 会

社団法人 日 本 金 属 学 会

来る4月1日、2日、3日の3日間両学協会の春期大会が東京大学において行われる機会に、第10回各社製品展示会を開催いたします。今年は業界各方面の本展示会へのご期待が大きく、したがって展示場所の狭小なことを心配しているような現状です。

本展示会は昭和27年春その第1回目を開き、今回は10回目となりますが、回を重ねるごとに参加会員ならびに出品会社の絶大な好評を得て、出品数も近年非常に増加して来ております。

この企画に御賛同下され多数御出品せられんことをおすすめいたします。

なおご参考までに展示物品の分類を示しますと次のごとくなります。

鉄鋼製品、特殊金属、各種純金属、硬度計、超音波探傷器、歪計、温度記録計、X Y軸記録計、高周波燃焼装置、真空機器、金属用顕微鏡、電子顕微鏡、金属分析用器機、X線分析装置、琢磨機、電弧熔接棒、鍍金および防錆製品、精密鑄造品、坩堝、耐火物、熱処理剤、整流器

各 社 製 品 展 示 会 出 品 規 定

1. 会 場 東京都文京区本富士町 東京大学工学部 1号館2階

2. 会 期 昭和35年4月1日、2日、3日

3. 展 示 料 金 1テーブルごとに { (大) 10,000 円 5・8 尺×2・8 尺
(小) 8,000 円 3・8 尺×2・8 尺

(使用テーブルに制限なし)

使用料金は準備の都合上会期前に必ず全額を頂きます。入金後諸手続の上必要書類を差上げます。本会運営上会期中に精算するため昨年度より前金制度を実施致しております。

4. 申 込 期 日 昭和35年3月15日限り

あらかじめ出品目録を印刷、大会参加会員に配布しますからなるべく早目に出品物名称記入の上お申込み下さい。テーブル数に制限がありますから期日前に締切ることもあります

5. 申込及送金場所 東京都文京区本富士町 東京大学工学部冶金学科内 日本金属学会東京事務所

6. 連絡事務所 東京都中央区銀座西8ノ3 小鍛冶ビル

有限会社 明 報 社 内

日 本 金 属 学 会 中 央 連 絡 所

都 筑 賢 蔵

電話銀座 (571) { 2548
2849

7. 搬 入 場 所 東京大学工学部 1号館2階

8. 搬 入 日 時 昭和35年3月31日9時より15時

9. 搬 出 日 時 昭和35年4月3日15時より17時

10. その他注意事項 詳細については前記中央連絡所にお問合せ下さい。

金属材料の強度と疲労に関する総合シンポジウム (第5回) 開催

日本鉄鋼協会 日本金属学会 日本機械学会 日本材料試験協会 共催

〔趣旨〕 金属材料の降伏、破壊、疲労、クリープなど強度上の諸問題は物理学、金属学、冶金学、材料試験、応用力学など諸分野に関連しておりますので、上記関連諸学会共催の下に毎年春これまでに4回表記シンポジウムを開催して来ましたが毎回極めて盛会であります。今回は下記項目につき最近の研究の総説、展望的解説、問題点の提起、活潑な討論を行いたいと思います。

日 時 昭和35年3月31日(木) 9時30分～17時5分

会 場 東京大学工学部2号館大講堂 (国電 お茶の水駅下車、都電、バス 東大正門前下車)

プ ロ グ ラ ム (各講演後に約5分の討論時間、(6)と(7)の間に5分の休憩時間あり)

題 目	時 刻	講 師
(1) The Prediction of Fatigue Fracture Under Combined Stresses at Stress Concentrations	9・30～10・10	Univ. of California Prof. G. Sines (論文紹介 横堀 武夫)
(2) 脆性破壊の結晶学的問題	10・20～11・00	東北大金研教授 工博 幸田 成康
(3) 疲労の転位論	11・10～11・50	日本原子力研究所員 藤田 英一
	昼 食	
(4) 破壊と疲労の基礎的問題	13・00～13・40	東北大工教授、機械工学科 理博 横堀 武夫
(5) 破壊の動的様相	13・50～14・30	東大工教授、船舶工学科 工博 金沢 武
(6) Bauschinger Effect	14・40～15・20	東大工教授、機械工学科 工博 鶴戸口英善
(7) 高温破壊	15・35～16・15	東北大金研教授 理博 竹内 栄
		東北大金研 本間 恒夫
(8) 鋼材の高温脆性	16・25～17・05	東北大工教授、金属工学科 理博 門間 改三

○資 料 前刷(タイプ騰写印刷約80ページ、1部送料とも150円)がありますから希望者は代金を添えて3月20日迄に仙台市片平丁 日本金属学会宛お申込み下さい。(以後は当日会場売り)

○懇談会 シンポジウム終了後(17時30分から)懇談会を開きます。上記その他強度関係の話題についての自由懇談といたします。
会場=東京大学山上会議所 希望者は夕食代500円を添えて日本金属学会宛3月20日迄お申込み下さい。

1959 年石炭利用技術会議議事録の頒布について

昨年11月工業技術院、日本動力協会エネルギー技術対策本部主催、本会ほか25学協会団体共催の下に開催された第1回石炭利用技術会議の議事録がこのたび発行されましたので、御希望の方は下記要領によりお申込下さい。

頒布価格 第1分冊より第5冊まで合本

予約特価 1500円 定価 2000円 (分冊でもお願ひいたします)

予約締切 昭和35年2月15日

申 込 先 東京都千代田区丸ノ内1の2 日本工業倶楽部内
社団法人日本動力協会 エネルギー技術対策本部
石炭利用技術会議事務局

第10回品質管理大会講演募集 (1960年6月開催)

第10回品質管理大会が本会ほか21学協会団体の共催で、来る6月に開催されることになりました。講演を希望される方は下記要綱をご覧のうえお申込み下さい。

1. 内 容 品質管理ならびに統計的方法の応用に関する研究発表、たとえば各種工業における品質管理のやりかた、効果、考えかた、品質設計、新製品計画、管理プログラム、標準化、検査、品質規格、管理図、実験計画、相関分析、サンプリング、抜取検査、自動制御、管理試験、下請管理、契約の合理化、計測管理、設備管理、熱管理、倉庫管理、安全管理、事務管理、原価管理、市場調査、オペレーションズ・リサーチ、教育普及方法および用具、組織など。
2. 開催月日 昭和35年6月7日(火) 報告会(午前)、報告会(午後) デミング賞授賞式、記念祝賀晩餐会(夜)
6月8日(水) デミング賞受賞者報告講演会(午前)、分科会(午後から夜まで)
6月9日(木) 総合討論会(終日)
3. 形 式 報告会は従来通りとし、一部「リポータ方式」を採用
分科会および総合討論会のテーマ 「納入者と受入側の関係」
リポータ方式の運営方法
 - 1) 開 会 挨拶: 座 長
 - 2) 論文内容説明: リポータ
各分会の論文内容の一括説明とこれに関連する内外技術の現状、動向などについての発表。
 - 3) 発表論文に対する問題点の提起: リポータ問題点についての印刷物は当日各会場で配布。
 - 4) 各論文に対する補足説明: 論文発表者
 - 5) 質疑応答および討議(座長の司会): 参加者(註: 論文集は早目に発行しますので予め御通読下さい)
4. 会 費 参加費(会場費、印刷物等)1,200円 晩餐会費2,000円
5. 場 所 第1日 報告講演 学士会館、如水会館 デ賞授賞式(未定)
第2日 デ賞受賞者報告講演会(未定)、分科討論会 学士会館、如水会館
第3日 総合討論会 一ツ橋講堂
6. 講 演 1件20分(リポータ方式は別記)
7. 申込締切 3月10日 申込希望者は至急切手50円同封の上、申込用紙および原稿用紙を準備委員会宛て請求下さい。
8. 申込および報告送付先 品質管理大会準備委員会
(東京都中央区京橋1の2 大阪商船ビル、日本科学技術連盟内)
9. 報告予稿締切: 3月31日
講演者は必ず報告予稿を提出のこと、指定の400字詰原稿用紙10枚以上25枚以内厳守
報文は活版印刷にし、リポータ方式をとりますので特に期日厳守されたし。
10. アンケート: 前記したように本討論会のテーマである「納入者と受入側の関係」にはいろいろな問題があると思いますのでどんな問題点があるか、どんな分科会を持ちたいかを3月10日までに大会準備委員会宛てに葉書でご連絡下さい。これにより分科会のテーマをきめます。

第1回原子力研究総合発表会開催

過去3回にわたる原子力シンポジウムに代り、本会ほか原子力学会など28学協会共催の下に原子力研究総合発表会が開催されることになり、その第1回発表会が下記の通り開催されます。

1. 開催時期 2月11日～13日の3日間毎日午前9時から
2. 場 所 東京・神田・学士会館 (詳細は本誌34年10月号参照)